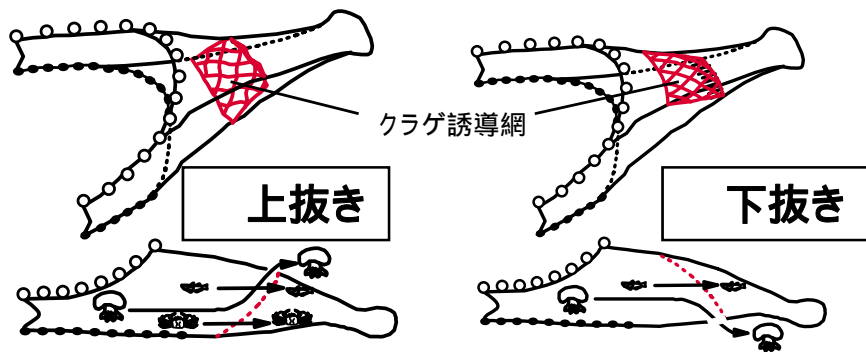


# 兵庫県における大型クラゲ対策底びき網の開発 (魚は逃がさずクラゲを網外へ排出する構造の考案)

## 研究成果

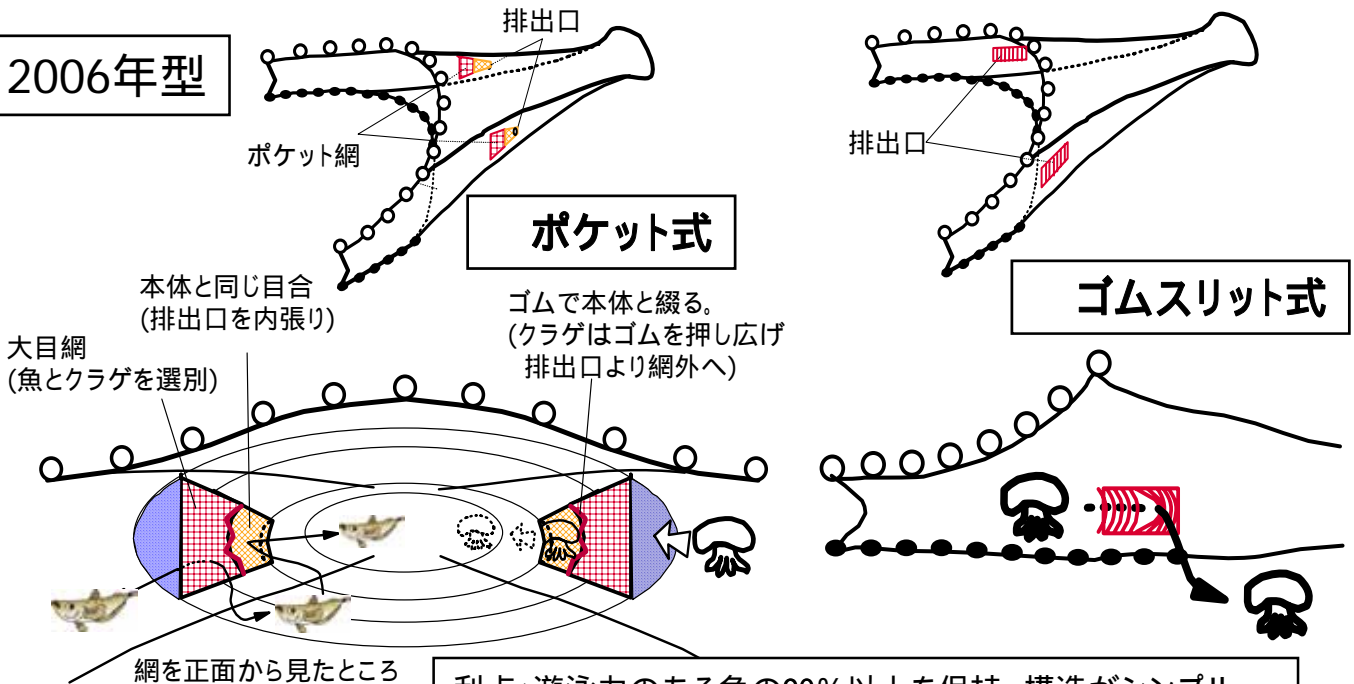
網内に仕切網を配してクラゲを網の上下に誘導、排出する従来の方法(上抜き・下抜き)に加えて、魚の排出が少なく構造がシンプルな新たな構造(横抜き)の網を2種類考案し、漁業調査船「たじま」の試験操業により効果を実証した。

2005年型



利点: 入網したすべてのクラゲが排出対象となる。  
欠点: 魚やカニもある程度排出される。大型ゴミが入ると支障をきたし、補修も難しい。

2006年型



利点: 遊泳力のある魚の90%以上を保持。構造がシンプル。  
欠点: カニ・貝類等について難あり。( は網掛かり、 は排出)

## 今後の展望

今後はよりシンプルな構造でズワイガニ等の保持率とクラゲ排出率の向上を目指す。

兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター